

安心・安全な登山のために

宿泊施設の方々へのお願い

今まで、登山目的で宿泊されるお客様についてこのようなケースはありませんか？

「どうでしょう、お客様が約束の時間になっても帰ってこない。」

「ご高齢で軽装、そう言えばお昼ご飯しか持って行ってなかったみたいだったけど…」

「夕食までに帰って来なかったら、とりあえず警察に通報すればいいかな。」

これでは既に、手遅れな事態と言えます。

屋久島が厳しい山であることを知らずに来る登山者は少なくありません。

下山遅れは即命に関わる事態に発展する場合があります。

宿泊施設の皆様が一声かけてくださることで、命を落とすような危険を回避でき、夜中になっても帰ってこないお客様を心配する事態を防ぎスムーズなお客様への対応ができるのではないのでしょうか。

- 一人で来ており、足腰が弱そうな高齢者
- 服装が軽装
- 目的地が曖昧
- 屋久島がどのような険しい山(長時間かかり体力が必要)であるか知らない



- 経験が浅いのに、上級者向けの山に登ろうとしている

上記に該当する登山客が宿泊される場合には、不測の事態に備え次の「確認」をして屋久島の山についての詳しい説明をお願いします。

※ 宿泊される登山客が、再度笑顔で元気に屋久島にきていただくには皆様のお力が必要ですのでご協力をお願いします。



《確認事項等》

- 通行手段(バス, レンタカー, タクシー)
- どこから登山を開始し, どこを目指し, どこに下山するか等詳しい行程
- 登山客の容姿を確認(身長, 服装, ザックの色, 帽子の色等)
- 登山届提出の呼びかけ
- 登山アプリ(「ヤマップ」, 「コンパス」等)の有無, 取得していなければ取得を勧める



《最近の山岳遭難事案》

- 複数で登山していたが、後刻単独行動になり、道に迷い、待ち合わせ時間になっても下山してこない。
- 一人で正規ルートではない山(トーフ岩)を目指して道に迷い、ライトも無く携帯食料も持たず、捜索隊が捜索した結果5日後に遺体で発見された。
- 夫婦で縄文杉に登ったが、体力不足で下山がおくれ、結局バスの最終時刻に間に合わず、タクシーも来ず(夜になるとタクシーは登山口まで対応しません。)下山できなくなってしまった。
- 雪が深いとは知らずに雪山装備もしっかりせず登山を開始して、途中で雪が深く進めなくなり、山小屋で緊急的に宿泊することになり救助隊を待つことになった。



↑ 雪で覆われる
永田岳山頂

鹿児島県警察から登山に関するお願い

登山届は
あなたの生命を守るザイルです

登山計画は必ず立て、登山届を提出
しましょう。下山の報告も忘れずに。

● スマホでも作成可能です ●

警察や自治体と連携しています。

全国山域の登山届は
「コンパス」から！



<http://www.mt-compass.com>

- 1 登山届を提出しましょう
- 2 自己の体力、経験を考慮し、無理のない計画をたてましょう
- 3 単独登山は避けましょう
- 4 健康状態、気象状況に不安があれば、中止しましょう
- 5 日帰り登山でも雨具、非常食、飲料水、照明具、地図、コンパスを準備しましょう



登山届はスマホアプリ「コンパス」でいつでもどこでも簡単に！

道に迷ったかも・・・と思ったら ※すべてケースバイケースです

まず、落ち着く

あわてて活動すると事態は悪化します。まずは現在の状況を冷静に判断しましょう。



見通しの良い所へ

現在位置がわからない場合は、見晴らしの良い場所に登りましょう。沢へ下るのは危険なことが多いので避けましょう。



現在地を把握

地図やコンパス、スマホのGPS機能などで現在地を把握しましょう。

引き返す

勘に頼って移動せず、位置がわかる
ところまで引き返しましょう。

救助を要請

自分(たち)で対処しきれないと判断
した場合は救助を要請しましょう。



このQRコードを読み込むと、
現在位置(緯度・経度)を表示
して110番通報ができます。

※端末の設定により位置情報は
表示されない場合もあります。

<https://www.mt-compass.com/110>